

山本健吉資料室
オープン5周年記念

山本健吉文学講演会

石橋秀野の俳句について

—愛と死をめぐる—

定員100名
入場無料
要申込

令和元年

12.22 [日]

13:30~15:00 (受付開始13:00)

会場 八女市
岩戸山歴史文化交流館
「いわいの郷」

〒834-0006 福岡県八女市吉田1562-1
TEL0943-24-3200

講師 **岸本 尚毅 氏**
(俳人)



1961年岡山県生まれ。中学時代、芥川龍之介の作品「木がらしや目刺にのこる海のいろ」に出会い俳句を始める。

1979年、赤尾兜子に師事し、赤尾の逝去後は波多野爽波に師事する。高浜虚子についても深く研究し、『高浜虚子俳句の力』(三省堂)、『高浜虚子の百句 作句のこころを読み解く。』(ふらんす堂)なども執筆。近著に夏井いつき氏との共著『「型」で学ぶはじめての俳句ドリル』(祥伝社)がある。

2009年の第1回石田波郷俳句大会より選考委員を務める。

このほか、角川俳句賞選考委員、岩手日報選者、山陽新聞選者、「NHK俳句」選者(2018年度)を務める。日本文芸家協会会員。



石橋秀野と山本健吉(長女 安見 宮参りの日)

